

# なかの 中

# 市議会だより

1 月号

平成21年1月22日発行  
No.15

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会  
●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)

## 謹賀新年



奈良家の土人形「俵牛」

● 市政一般質問	陳情	● 請願・陳情	その他	意見書案	人事案	事件案	予算案	条例案	● 議案件数及び議決内容	会期	閉会	開会
24件	2件	1件	1件	5件	2件	3件	1件	3件		16日間	12月24日	12月9日
	不採択	採択	可決	可決	適任	同意	選挙	可決				
			否決	可決	同意	選挙	承認	可決				

12月定例会



# 新年のごあいさつ

議長 湯本 隆英

新年明けましておめでと  
うございます。

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年4月に議長の要職に就任して以来、市政の発展と円滑なる議会運営に微力をささげてまいりました。その間、市民の皆様から寄せられました温かいご指導やご厚情に対し、心からお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、米国の金融危機に端を発して百年に一度ともいわれる世界的な金融危機にみまわれましたが、我が国においては、円高や株価の下落など、そのあおりを受けて企業業績が悪化し、派遣労働者の「派遣切り」や「雇止め」、さらには新卒者の内定の取り消しが相

次ぎ、国内経済にとつては大変厳しい年でありました。本市にとつても同様に、地域経済はもとより市民生活の暮らしをも脅かす大変厳しい1年であったように思います。

また、忘れてならないのは、前中野市長の青木一様  
が急逝するという大変悲しい出来事がありました。生前、前市長は、市村合併に力を注がれたことをはじめ、売れる農業のブランド化の構築、バラによるまちづくりを進めるための一本木バラ公園拡充整備など、その多くは新しい中野市の礎を成すものであり、改めてその功績に敬意と感謝を申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

これから本格的な少子高齢社会を迎えますが、景気の悪化によって、本市においても今後ますます厳しい

行財政運営がしばらく続くものと思いますが、市議会といたしましても市民の皆様への声を聞き、ご理解をいただくなかで、さらに創意工夫を重ね安心して暮らせる住みよいまちづくりを進めるべく決意を新たにしているところでございます。

議員一同、市民の皆様と手を携え、住んでよかつた  
と実感できるまちづくりの実現に向け全力で取り組む所存でございますので、市民の皆様には、これまで以上のご支援ご協力を賜りますよう心から願いを申し上げますとともに、ご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



## 基本的な施政方針について

佐藤 恒夫



**質問** 医師確保の働きかけ  
についての具体的な行動予定及び見通しはどうか。

**答弁** 信州大学、新潟大学、富山大学の3大学の医局に対して、年明けには医師派遣について要請していく。

**質問** 24時間体制の医療相談所開設の具体的な構想及び財政的な負担はどうか。

**答弁** 北信総合病院内に開設を目指し、24時間、専門スタッフによる医療相談体制を整備する。それに係る人件費と備品等の初期費用については支援していく。

**質問** 青木前市政をどのよう  
に評価しているのか。

**答弁** 旧豊田村との合併実現、文化やスポーツの振興、子育て環境づくり、産業公社の設立など多方面にわたる地域振興対策の実現、地域情報基盤整備の推進など、旺盛な責任感と不断の努力、卓越した指導力と実行力で、市の発展と市民生活の向上に多大な功績を残されたと思う。心から敬意を表する。

**質問** 青木前市政の継承は、  
**答弁** 前市政を継承し、中野市の認知度向上を目指して各施策を展開していく。

### 有害鳥獣対策について

**質問** 電気柵設置に対する  
県補助制度の充実について。  
**答弁** 3戸以上でない対象にならないなど、地域の実態に合わない面もある中で、制度改正について引き続き要望していく。

**質問** 地域に対する支援策  
をメニュー化し助成する。  
**答弁** 新たな仕組みを作れないか。  
**答弁** 猟友会員の高齢化、会員数の減少で、捕獲体制が取れなくなる状況も予測されるので、狩猟免許取得希望者への助成については、市農作物害鳥獣駆除推進協議会とも相談していきたい。



### 新市長の政治姿勢について



小泉 俊一

**質問** 新市民会館の建設については。

**答弁** 設計事務所を選定する設計プロポーザルが終了し、設計委託先が決定した。株式会社梓設計と、このほど基本設計業務の委託契約を締結したところである。事業を進めるにあたり、世界的な金融危機に見舞われていることから、様々な要

素を勘案し、施設の内容や規模も含めて検討していく。

**質問** 市役所本庁舎の耐震整備方針については。

**答弁** 改築するか、耐震補強で対応するかについては、長期財政見通しを慎重に見極める必要があるため、平成21年度中に、整備方法、実施時期について一定の方向を出したいと考えている。

### 景気悪化による緊急かつ

### 総合的な支援対策について

野口 美鈴

**質問** 労働者の大失業と市内業者の年末倒産等の危険

から守る総合的な対策と緊急支援、それらの各課緊急相談窓口が必要ではないか。

**答弁** 雇用情勢は厳しく、業績回復で雇用創出となるよう関連機関と連携し、10月から新設した市制度資金「原油・原材料高対策資金」のさらなる利用と、国が対象を12月までに698業種に拡大し制度の拡充・見直しを行った、100%信用保証協会

が保証する「緊急保証制度（セーフティネット5号）」

の認定等弾力的に対応する。閉庁日の年末29・30日も融資決定及び認定の事務を行う。各課の緊急相談窓口設置は現在でも対応している。

**質問** 学校給食費は来年度値上げを検討中と聞くが、食料費高騰の中で現場の工夫にも限界がある。来年度3月まで材料費の緊急的支援と来年度以降も景気悪化対策として、保護者への値上

**質問** 今年度の市税の収入見込みについては。

**答弁** 平成20年度当初予算額に対して、景気の悪化により、直接影響を受ける法人市民税で約1億1千万円の減、その他の税目では約1億円の増となり、市税全体ではマイナス0.2%、約1千万円の減になると見込んでいる。減収に伴う歳出削減等については、入札差金の凍結や歳出全般にわたる見直しを行い、事務費等の歳出削減に努めるなどにより対応していく。

**質問** 大型建設事業、長期的視野に立った今後の財政運営については。

**答弁** 国・県の動向を見ながら、市民の不安を少しでも和らげるべく、確実な経済対策等の事業実施を心がけ、大型建設事業等を見据えた長期財政見通しは、前年度と比べ経済状況が著しく変化している現状を踏まえ、今後の国の動向を注視しながら、市の総合計画に沿った、健全な財政運営に一層努めていく。新年度予算は出来る限り「借金をしない」より筋肉質な予算編成を行いたいと考えている。

### 障がい者施策について

**質問** 現行の「障害者自立支援法」をどう考え、その見直しについてどう思うか。

**答弁** 利用者負担原則一割だが、国で毎年利用者限度

**若者などの未就職者やひきこもり等への支援について**

**質問** 現状の認識と就職支援をどのように考えるか。

**答弁** 現状は把握していない。就職支援については、本年6月から県の協力を得て概ね35歳未満を対象に、職業や就職活動のノウハウ等様々な相談に応じる「中野ミニジョブカフェ事業」

### 有害DVDなどの自動販売機撤去について

**質問** 契約期間満了時には更新しないと聞いていたが、満了後も設置のままである。今後の方向と見解は。

**答弁** 通学路の設置は未成熟な子ども達に影響を及ぼす恐れがあり、関係機関と協力して早期撤去に努める。



**定額給付金及び景気経済  
対策について**

町田 博文

**質問** 高額所得者へは、支給の辞退を呼びかけることができるかとされているが、地元で財源を残すためにも一旦受けていただいて、寄附を呼びかけたらどうか。受皿は、ふるさと納税がよいと思うがどうか。

**答弁** 地域経済に資するためにも、できる限り受給いただきたいと考えているが、寄附についても検討していく。

**質問** 市全体で7億円を超える給付金が支払われる。

貯蓄にまわらないで、できるだけ消費してもらえよう。市が実施しているプ

レミア付き商品券支援事業や子育て家族応援事業と連携して、例えば、期間バージョンをおこなったらどうか。

**答弁** 商品券支援事業については、実施時期等について中野商工会議所と相談していきたい。子育て応援事業については、カードの利用促進PRをおこなうなどできる限り給付金が市内で

消費されるような方策を考えた。

**質問** 国は、平成20年度の緊急措置として、子育て応援特別手当の支給を予定しているが、市内の対象者数、総額はいくらか。

**答弁** 小学校就学前3年間の第二子以降の子一人につき、3万6千円を支給するというもので、対象者数は約750人で、総額は約2千700万円である。

**携帯電話リサイクル  
について**

**質問** 携帯電話には、リチウム、インジウム、金、銀などの希少金属が含まれて

いる。買い替えにより家庭で眠っている携帯電話は、「都市鉱山」といわれ、その回収が大きな課題となっている。市としてリサイクル促進策をどのように考えているか。

**答弁** 貴重なリサイクル資源であることや、個人情報のは破砕などによって心配なことなどを市民に周知し、更なる広報に努めていく。回収ボックスの設置についても研究していく。

**高齢者・介護家族に  
対する相談体制の  
充実強化について**

**大型事業を抑制し、  
市民の暮らしと健康を  
第一の行財政運営に  
すべきではないか**

**質問** 大型事業優先から暮らしや社会保障優先を求めてきたが、新市民会館建設、みよし・西町保育園統廃合をどのように考えるか。

**答弁** 新市民会館は市民ニーズに即し建設。保育園施

**質問** 親の介護を独身の子供がおこなう「シングル介護」が増えており、仕事と介護の両立に苦しんでいる実態がある。相談体制の充実など市の支援策はどうか。

**答弁** 特に独身の息子が母親を介護しているという状況が増えている。介護保険の利用促進のための啓発活動に努めるとともに、総合的な相談窓口としての地域包括支援センターの一層の周知を図っていく。



設整備は実施計画のローリングで検討し、市民の意見を聞き施設整備を進めたい。

**質問** 新市民会館建設のラニングコスト等示し、市民合意が求められるのでは。

**答弁** 市民意見を聞きたい。

**市政に対する基本姿勢と  
地域医療充実など公約の  
具体化について**

青木 豊一



**質問** 日本共産党は、新市長の政治姿勢を質し、深刻な経済危機に市内から一人も犠牲者を出さないよう、野口議員と分担して質問を行いたい。

雇用・農業・商工業生活防衛緊急対策本部の設置を求め、市長は市政遂行に当たり日本国憲法を守り、公正・公平、一切の圧力に屈せず「市民が主人公」の市

政を貫くべきではないか。

**答弁** 「市民の皆様が健康で安心して暮らせるまちづくり」へ、市民の視点で各種施策に取り組みたい。

**質問** 4年後の中野市像は、**答弁** 基礎的行政サービスを確実に提供し、地域の均衡ある発展と活性化を図る。

**質問** 地域医療充実への市民の期待にどう応えるか。  
**答弁** 医療相談所は21年4月を目前に事業を進めたい。

こども医療費無料等暮らし応援の具体化について

質問 子どもの医療費無料拡大、基金活用で介護保険料負担軽減を、国保税は3年間で40%余値上げされた。

負担軽減を求めたい。  
答弁 子どもの医療費は現状維持。介護保険料の急激な負担増を避け、低所得者配慮を検討し、21年度国保税改定は現在考えていない。  
質問 こどもの医療費無料拡大は千数百万円で可能で

行政の必然課題ではないか。  
答弁 財政的に困難である。

中野市地域情報基盤整備事業整備に伴うIRU契約について

質問 中野市は10月30日に年間約2千438万円で伝送路整備貸借契約を締結した。貸付料の根拠は何か。  
答弁 総務省標準手続きで貸付契約をしており、貸付料は適正な対価と考える。  
質問 この事業にまちづく

り交付金を活用し年間約1千140万円民間の負担が軽減された。総務省では交付金等活用は利用者負担軽減のためと説明しているが、利用者負担軽減はいくらか。  
答弁 負担軽減額は把握していないが近隣では安い。

平成20年度会計の

決算見込みについて



金子 芳郎

質問 経済不況による法人市民税の税収見込みと予算執行計画の見直しはどうか。  
答弁 景気悪化により、直接影響を受ける法人市民税は約1億1千万円が減、その他の税目では約1億円の増となり、税収全体では約

1千万円の減を見込んでいます。  
減収に伴う歳出削減策については入札差金の凍結や歳出全般に見直しを行い事務費等の歳出削減に努める。  
質問 平成20年度国保会計の見込みはどうか、赤字決

算の場合21年度の値上げは考えているか。  
答弁 20年度の見通しは、まだ確定していないが大変厳しい状況である。18年度から値上しており21年度の値上げは考えていない。  
質問 21年度予算編成方針はどうか。  
答弁 事務事業の評価による事務事業の見直し、自主財源の積極的な確保、起債依存からの脱却など財政健

全化への取り組みを強化し、必要性、緊急性及び将来の財政負担等を十分検討考慮し予算編成を行う。景気変動もあり税収の落ち込みも想定され、厳しい予算編成を強いられると予想している。限られた財源を有効活用し、住民ニーズに即応した予算編成をしていきたい。  
大型建設事業等について

からも良い案と考えている。駐車場は180台を確保し、広い駐車場を必要とするのは一時的である。  
質問 財源見直しは。  
答弁 まちづくり交付金、合併特例債を活用して実施するものであり、財源を考慮すると、この機会が財政的な負担が少なくなる。  
質問 市役所庁舎耐震補強工事が庁舎新築建替工事と進めるのか。  
答弁 長期財政見直しを慎重に見極める必要があるため、21年度中に一定の方向を出したい。

学校における環境教育について



山岸 國廣

質問 環境教育の基本方針。  
答弁 環境教育に係る基本方針は環境保全に寄与する態度を養うことである。  
質問 特色ある環境保全活動は。  
答弁 小学校では、身近な

自然の観察や体験を通して、ホタルやめだかの観察、夜間瀬川の調査、学校農園を活用した栽培活動、中学校ではリサイクル活動やごみ拾いなどの清掃活動に取り組んでいる。

質問 長丘小学校風力発電の復活についての見直しは。  
答弁 自然エネルギーの活用、環境、健康への配慮を目的に設置した。発電された電気は中庭の噴水装置の一部に使用してきた。  
風力発電の復活には、装置の修繕に多額の経費が必要なこと、緊急性から直ちに修繕することは難しい。

質問 新市民会館建設に市民の声を聞く考えはないか。  
答弁 文化施設の整備については、市内各地での市民懇話会において説明しており、ご理解を頂いていると考えている。  
質問 建設位置、駐車場問題、中野市の経済状況を考慮して見直しの考えは。  
答弁 立地条件や財源問題から、現在の敷地の中で、庁舎南側への建設が市民の皆さんの利便性や経済性か

その他の質問  
中野市の経済状況について  
地域医療充実について



## 中心市街地の再生について

深尾 智計

**質問** 新市長の市街地再生へ向けた考えはどうか。

**答弁** 本市の基幹産業である農業などと連携を図り、中心市街地の活性化を進めることが必要である。

また、賑わいの回復のため「陣屋朝市」や、「あとと市」による地元商店街と農業との連携が進められており、今後もこうした事業が広がり、地元住民や市民が参加して盛り上げて頂きたいと考える。

旧マツヤ跡地を含めたまちづくりについては、市で設置した中野陣屋前広場活用委員会から報告を頂き、その提案を参考に中心市街地の再生に努めていく。

## 都市計画道路の基本方針について

**質問** 三好町線について。

**答弁** 本市では、高齢者や

身体障がい者などの皆様が使いやすい歩道整備を図るため、平成13年度に各種団体の代表及び一般公募委員をメンバーとする「やさしい歩道づくり懇話会」を設置し、基本計画を策定した。それに基づき歩道整備を進めている。

三好町線については、交通安全対策上、歩行者の安全で安心な歩行空間を早急に確保する必要から、歩道整備を図る計画である。

**質問** その他の路線について。

**答弁** 今後の都市計画道路の整備については、本年度中に策定予定の「中野市都

市計画マスタープラン」の方針に沿って進める。今後の見直しについては、関係する皆さんの意見を参考に必要なところから、今後順次見直していきたいと考えている。

## 旧プラザ会館のアスベスト対策について

**質問** これまでの経緯について。

**答弁** 本年7月に、市へ解体内中の当該物件にアスベストの使用が疑われると問い合わせがあり、大気汚染防止法に基づく指導権限を有する県に確認を行った。

その後、県による立入検査が行われ、吹付けアスベストの使用が確認された。地元区が開催した説明会では、アスベストを完全除去する説明だったが、その後工事が中断した。

**質問** 現状と今後の対応について。

**答弁** 現在は開口部が塞がれており、周囲に立入禁止の看板とバリケードが設置されている。

今後も県等の関係機関と連携し、アスベストの早期撤去、建物の解体について引き続き所有者に働きかけたいと考えている。

## 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された、補正予算の専決処分の報告1件、予算案2件、事件案1件、意見書案1件について、18日に審査しました。

主なものは、専決処分の報告では、青木市長死去に伴う、市長選挙及び市葬、また市議会議員補欠選挙に要する経費について、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したもので、原案どおり承認されました。

予算案では、一般会計補正予算（第4号）は、72万7千円を減額し、予算総額を207億5千886万8千円とするもので、歳入のうち

主なものでは、各種事業の進捗に伴い、各事業費の変更、財源組替のほか地方債補正を行うもので、地方特例交付金、地方交付税、財産収入等3千427万3千円を増額し、合併特例債、まちづくり交付金事業債を3千500万円減額するもので

あります。

歳入の主なものは、議会費では、議員の退職に伴う議員人件費等229万3千円の減など総額22万5千円の減額、総務費では、一般管理費で人事異動に伴う職員人件費239万2千円の減、企画費で廃止路線代替バス運行補助金237万6千円の増、北信広域連合決算の確定に伴う負担金102万9千円の減、賦課徴収費で年金特別徴収に伴う住民税システム改修電算委託料87万3千円の増など、総額815万3千円の増

額、消防費では、消防施設費でコミュニケーション消防センター施設整備に伴う設計委託料等総額94万1千円の増額、教育費では、小学校管理費で燃料費133万6千円の増、耐震補強設計業務委託料等82万3千円の増、中学校管理費で燃料費98万1千円の増、耐震補強設計業務委託料等145万3千円の増、図書館費で燃料費63万円の増額などであり、平成20年度中野市中野財産区事業特別会計補正予算（2号）と同様に原案どお

り可決されました。

事件案では、電子自治体推進部門の新設による規約変更及び合併に伴い下伊那郡清内路村が脱退することに伴う、長野県市町村自治振組合規約の変更及び長野県市町村自治振組合を組織する市町村数の減少については、原案どおり可決されました。

意見書案は、消費税の食料品非課税を求める意見書案について、慎重に審査した結果、賛成小數で否決されました。

## 民生環境委員会報告

条例案1件、予算案2件、陳情3件を、18日に審査しました。

主なものは、条例案では、出産育児一時金の額の引き上げを行う中野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案については、原案どおり可決されました。

予算案では、平成20年度中野市一般会計補正予算(第4号)については、民生費では、社会福祉総務費で人事異動に伴う職員人件費293万9千円の増、高齢者福祉費で介護保険事業特別

会計繰出金379万8千円の増、児童福祉総務費で児童クラブ施設整備に伴う設計委託料等124万6千円の増、保育所費で嘱託保育士増に伴う報酬1千109万2千

円の増、燃料費536万9千円の増、私立保育園運営委託料716万8千円の増、特別保育事業等補助金154万5千円の増、衛生費では、保健衛生総務費で人事異動に伴う職員人件費231万8千円の減、保健指導費で妊婦乳児健康診査委託料122万4千円の増、環境衛生費で事業費等精査

に伴う北信保健衛生施設組合分担金151万5千円の減額などであり、668万2千円の増額補正を行う平成20年度中野市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)と同様いづれも原案どおり可決されました。

陳情では、共済法制定を求め陳情については、全会一致で採択とし、介護保険料を所得比例中心に変更することを求める陳情及び所得割重視の国保税(料)を求める陳情については、いづれも賛成少数で不採択となりました。

補修用材料費117万2千円の増、道路橋梁費で、道路等修繕工事費500万円の増、一本木公園内旧中野小学校西舎改修工事取り止めに伴う工事費等5千121万1千円の減などであり、ほか特別会計補正予算2件と同様いづれも原案どおり可決されました。

事件案では、農村振興総合整備統合補助事業に伴う市道網の再編による、市道路線の廃止、認定については原案どおり可決されました。

(第4号)については、農林水産業費では、農業資金融資利子軽減事業に伴う、利子助成金等37万2千円の増、きのこ使用済み培地専用ストープ購入費補助金及び巨峰等ハウスの暖房効率化に伴う断熱シート設置補助金、合わせて156万9千円の追加、土木費では、新幹線関連事業対策費で、電気料改定に伴う光熱水費139万5千円の増、道路新設改良費で、道路改良工事費458万円の増、道路舗装費で、

経済建設委員会に付託された、条例案2件、予算案3件、事件案2件について、18日に審査しました。  
主なものは、条例案では、中野市行政改革大綱実施要綱に基づき市税滞納者に対し制限を行う、中野市商業振興条例の一部を改正する条例案及び中野市若者住宅条例の一部を改正する条例案については、いづれも原案どおり可決されました。  
予算案では、平成20年度中野市一般会計補正予算



11月23日に執行された市議会議員補欠選挙において、茅川吉孝さんが当選され、本会議において議席番号及び所属の委員会が次のとおり決まりました。

- 議席番号 1番
- 民生環境委員会
- まちづくり対策特別委員会

また、茅川議員の議席の指定に伴い、次のとおり議席番号が変わりました。

- 2番 沢田一男議員
- 3番 山岸國廣議員
- 4番 竹内知雄議員
- 5番 佐藤恒夫議員
- 6番 深尾智計議員

7番以降変更はありません。なお、高木議員が市長選挙へ出馬したことにより、欠員となりました。議会運営委員長に竹内知雄議員が、副委員長に山岸國廣議員が就任し、北信広域連合議会議員には、武田典一議員が、北信保健衛生施設組合議員には、沢田一男議員がそれぞれ選ばれました。

## 意見書

〔可決された意見書〕

(関係行政庁に提出)

### 介護保険制度の抜本的改善を求める意見書

介護報酬の引き下げは介護従事者に多大なしわ寄せをすることになり、そのため介護従事者は、生活できない低賃金、働き続けられない労働環境で、そのことが福祉・介護サービスに携わる介護従事者の確保を困難にしています。事業者にとっても介護報酬引き下げが経営難に直結する事態となつています。このため、介護労働者の処遇改善をはじめ、介護保険制度の抜本的改善は待ったなしの状況です。

第169通常国会では「介護従事者等の人材確保のための介護従事者等の処遇改善に関する法律」が全会一致で可決・成立しました。この法律を有効あるものにすることは国の責任であり、高齢者等が安心して暮らすことのできる社会を実現することが国の責務であります。

よって、国においては、介護保険制度の抜本的改善

のために、左記事項の実現を強く要請します。

記

- 1 利用者のサービス利用制限を取りやめ、必要なサービスを保障すること
- 2 介護従事者の処遇改善を図り、介護の人材を確保すること
- 3 介護報酬を引き上げること
- 4 介護保険に対する国の負担を大幅に増やし、保険料や利用料を引き下げること

### 社会保障費抑制方針の撤回を求める意見書

社会保障費は、すべての国民が最低限の文化的生活を営むうえで欠かすことの出来ないものである。ところが、「骨太の方針2006」において2011年度までの5年間に自然増を1兆1,000億円抑制する方針が進められてきた。さらに、2009年度予算の概算要求基準においても自然増に対し2,200億円の削減を図ることとされた。

これまで「骨太の方針」の具体化により、社会保障

費は、診療報酬改定や年金支給額の減額等により様々な弊害を及ぼし、日本医師会も「社会保障費の年2,200億円の削減に反対します」という新聞広告を掲載するまでになった。

少子高齢化の進行、医療・介護サービス提供体制やセーフティネット機能の低下等、社会保障が直面する様々な課題に対応し、国民生活に欠かすことのできないサービスを今後も確保していくためには、その財源として十分な社会保障費が必要不可欠である。

よって、中野市議会は、国に対し、国民誰もが安心して生活できる社会を実現するため、社会保障費の自然増を毎年2,200億円抑制する方針を撤回し、2009年度予算において社会保障費を十分に確保するように強く要請するものである。

### 木質バイオマス利・活用に対する支援の拡充・強化を求める意見書

地球温暖化・環境改善はいま全世界の緊急課題になっている。わが国における森林は、国土の保全、水資源のかん養、林産物の生産

だけでなく、地球温暖化防止のための温室効果ガスの吸収等、多様な役割を果たしている。その維持のためには間伐等の適切な整備が不可欠である。

この間伐等により産出される木質バイオマスは、国内に豊富に存在する再生可能な資源であり、二酸化炭素について木の成長過程における吸収量と燃焼の際の排出量が同じとされていることから、これを有効に活用し、化石燃料の使用を抑制することによって地球温暖化防止に資することが期待されている。また、オガコを活用したバイオマス燃料化に向けての研究・開発も取り組まれ、今後の活用も期待されている。

しかしながら、原料となる間伐材等の搬出・流通コストがかかることや、ペレットストーブ・ボイラー等燃焼機器の導入費用が化石燃料による場合に比べ割高であることなどが、オガコを含め木質バイオマスをエネルギーとして利用する上での課題となっている。

よって、中野市議会は、国に対し、木質バイオマスの利活用の促進を図るため、ペレット等を使用する燃焼機器の普及、間伐材の搬出・

流通、木質バイオマス燃料の研究や製造等への支援を一層拡充・強化するよう強く要請するものである。

### 非正規社員等の雇用確保・失業者の生活確保に緊急対策を求める意見書

世界的不況とあいまって、国内においては、大企業などにおける派遣労働者などの「派遣切り」「雇い止め」が連日マスコミでも取り上げられるほど大きな社会問題となっている。

しかも年の瀬を前に、仕事を打ち切られると同時に、居住場所である寮まで奪われるケースが各地で発生し、住む場所もなく、仕事に就きたくても仕事がなく、路頭に迷う人たちが多数となっている。また、正社員でも「退職を迫られる」ケースも出始めており、まさに雇用環境は深刻な事態になっている。

大事なことは、「雇い止め」をするのは日本でも有名企業等が多く、農業や中小企業と違い体力はあるといわれており、雇用を守るため出来る限りの努力をすべきではないか。それはまた、商品の販売にも結びつき、景気の回復と社会的

信頼も得ることもつながると思われる。

政府も、日々深刻さを増す事態に対し、対応策の検討も始まってはいるが、人の生死にもかかわる深刻な問題であり、一刻の猶予も出来ない。

よって、中野市議会は、国に対し、左記事項を緊急に具体化することを強く求めるものである。

記

- 1 非正規雇用労働者の「派遣切り」「雇い止め」の中止を強く求めること
- また、派遣労働者を直接雇用するなど雇用の場の確保を図ること
- 2 仕事を失った労働者への再就職の支援、居住場所を失った人に対する、住居の確保と生活保障に最善を尽くすこと
- 3 常用雇用を原則とした雇用法の制定に努めること

### 公益法人運営等による自主共済について保険業法の適用除外を求める意見書

共済の名を利用した不特定多数の消費者に対する無認可保険の販売を規制する

ため、平成17年に保険業法が一部改正されたところであるが、特定の会員間での相互扶助を目的とした自主共済までが一律に規制対象とされた。

公益法人等が行う共済事業については、当分の間継続できる旨の経過措置が設けられたものの、いづれも多額の資本金等を必要とする保険会社の免許取得若しくは少額短期保険業者の登録をしなければ、廃止又は譲渡せざるを得ない状況にある。また、その一方で、公益法人制度改革によって今後5年間のうちに新たな法人形態へ移行する必要がある、移行後は経過措置の対象外となることから、共済の自主運営が継続できないこととなる。

例えば、歯科医師会は、歯科医学の進歩発達と公衆衛生の普及向上等の公益目的に資するため、会員の相互扶助として自主共済を運営してきたが、その廃止は歯科医師の生活基盤の安定を損ない、ひいては安全・安心な医療を提供するという歯科医療機関の使命を阻害することにつながりかねない。

よって、中野市議会は、国に対して、こうした状況を踏まえ、公益法人等が会員の福利厚生を目的に運営している自主共済を保険業法の適用除外とするよう強く要請するものである。

## ■ 陳情

◎陳情第5号 介護保険料を所得比例中心に変更することを求める陳情

陳情者 長野県社会保障推進協議会

代表委員 熊谷 嘉隆 外4名  
(長野市鶴賀629番地1)

◎陳情第6号 所得割重視の国保税(料)を求める陳情

陳情者 長野県社会保障推進協議会

代表委員 熊谷 嘉隆 外4名  
(長野市鶴賀629番地1)

◎陳情第7号 共済法制定を求める陳情

陳情者 互助共済を守る長野県懇話会  
会長 関 昌憲  
(長野市鶴賀629番地1)

## 故青木市長 追悼演説

12月定例会、本会議初日(12月9日)の冒頭で、竹内卯太郎議員により、故青木市長の追悼演説が次のとおり行われました。

お許しを得ましたので、去る10月9日逝去されました、故青木一前市長の急逝を悼み、市議会を代表して、謹んで哀悼の意を表します。

今日ここに平成20年第五回定例会の開会に当たり、前市長の在りし日の容姿と警咳に接することもできず、議員一同惜別の情を禁じ得ないところでございます。

9月20日に入院し手術をされ、経過は順調とお聞きしておりましたが、9月23日突然の容体の変化、意識不明の重体とのことで、ただただあなたの回復を願う毎日でありました。

奥様をはじめ、ご家族の皆様が一体となって病魔と闘われましたが、その甲斐もなく10月9日、突然、息を引き取られたとの連絡をもらい、運命のあまりの厳

しさに、心打ちひしがれる思いでございます。

顧みますれば、あなたは、平成16年2月、市長に初当選されて以来、2期4年6ヶ月にわたり、文字通り寢食を忘れて、中野市の発展と住民福祉の向上のために尽くしてこられました。

思い起せば、経済の悪化や少子高齢社会の進展など、社会情勢の変化に対応し、将来にわたり住民の皆さんが、安心して暮らせるようにとの想いから「市村合併」に力を注がれましたことをはじめ、売れる農業のブランド化の構築に向けた「売れる農業推進室の設置」、さらには、バラによるまちづくりを進めるための「一本木バラ公園の拡充整備」など、その業績は、とても数え切れるものではございません。

あなたが精魂を込めて成し遂げられた多くの事柄は、新しい中野市の礎を成すものであり、いづれも困難な問題でありながら、剛毅にして果敢な決断力と、一方では人をひきつける温和な人柄によって、目を見張るような成果を収められたことは、多くの人の知るところであります。

その円熟した識見と、優れた行政手腕によって、いつまでも中野市を、より良き方向へと導きただけのものと思っただけに、あなたの突然の死は、誠に痛惜の極みであります。

郷土愛に裏付けられた確固たる信念と、温かいお人柄で、本市発展のために注がれたその御功績をしのびつつ、ことに当たって示されたあなたの信念と御見識を胸に刻んで、わが中野市のために微力を捧げることこそ、残された者の責務であると信じております。

今後は、ここにおいでの小田切市長と共々、本市を発展させることをお誓い申し上げますところであり、大切な大黒柱をなくされたご遺族の胸中は、まさに悲嘆と断腸の極みと存じますが、どうか一日も早く悲しみを乗り越えられていかれますよう、心からお祈り申し上げます。

結びに、ありし日のあなたのご功績に対し敬意と感謝の念を表しつつ、ひたすら御冥福をお祈り申し上げます。追悼のことばと致します。

## 議会改革 住民説明会

去る12月1日、3日、5日に開催いたしました、議会改革住民説明会へご参加をいただき、ありがとうございました。

皆様からいただきましたご意見等は、今後議会改革の参考とさせていただきます。なお、説明会でいただきました主な意見につきましては、以下のとおりです。

### 1 議員定数について

- ・議員が何人必要で、どういった仕事をするのかということを一番知っているのは、議員だ。住民の意見を聞いて人数を決めるなんてとんでもないことだ。
- ・経費節減のために議員するそんな馬鹿な話はない。そんな議員であってほしくない。市のために報酬額以上の仕事をしてほしい。
- ・定数を減らしてもやっていけるのかしっかり考え、住民に説得できるような議員でないといけない。
- ・必要なら人数をもっと増やせばいいし、地方自治法の中だけのつじつま合わせなら議員は3人いればよい。
- ・議員は、市が良くなるた

めに何人必要かをしっかりと把握して、住民が納得するような説明をしてほしい。

- ・アンケートを行っても市民にはわからない。議員が必要に応じて決めればよい。
- ・定数削減は残念だが、逼迫した財政状況では仕方ない。会議や行事に議員の出席依頼をすることもあるが、定数が減ると議員の負担も増える。私たちも、議員の負担が増えないようにすることを考えることが大事。
- ・議員定数20人は適切だと思う。あまり減らしても民意が反映されない。
- ・諏訪市と比較した場合、人口や財政規模等はるかに小さい。その諏訪市が15人なら13〜14人ぐらいでよい。
- ・報酬も多すぎると思うが、市が破綻すればどうなるのかも考え進めてほしい。
- ・ここ何回か選挙をみると候補が出ていくのか低調である。ならば定数を減らせばという議論にもなるが、減らしても立候補が増えるとは思えない。あまり減らせば女性も立候補しにくくなるため現状の22人がよい。
- ・18〜19人が適当。一方女性議員を考えると、女性4〜5人を含め20人が適当か。
- ・議員が減ると委員会運営が難しくなると思うが、20

人でも問題ないのか疑問。

- ・地域に議員がいなくなると、ますます政治に関心がなくなってしまう。よって現状の22人がよい。
- ・現状でよい。アンケートのみで決定するのではなく、地域の面積等も考慮し、世帯がばらついているところでは、その代表が必要だ。
- ・議員自身が一生懸命議員活動に取り組んでいれば当選できる。だから減らしてもよい。
- ・法定数の26人がよい。その分、政務調査費をなくすとか別の経費を削ればよい。
- ・10人とか15人とか思い切り減らしてほしい。その分報酬は倍にしてもよい。議員活動に専念して中野市がよくなればよいと思う。

### 2 本会議・委員会の開催場所及び時間について

・市の一番重要なことを決める機関であるから、ある程度格式があったほうがよい。今までどおり良い。

・傍聴者が少ない中で、経費を掛けることには疑問を感じるが、少しでも傍聴者を増やすという意味では、議員と傍聴者が距離を置かない別の会場でやってみるのもよい。また、日曜日の開催も試してみてもどうか。

### 3 政務調査費について

・政務調査費を使って、行政視察に行けばよい。

### 4 その他の意見等

- ・行政視察は、わざわざ出かけてなくても、インターネットで調べればよいのでは。
- ・行政視察は必要があれば年何回あってもいいのでは。
- ・ただ報酬をもらっているだけでは困る。市の5年10年先を考えてやってほしい。
- ・どうすれば市民が議会に関心を持ってくれるようになるかの観点から、議案の採決の時、どの議員が賛成反対したのか、市民に分かりやすく採決の結果を情報公開してほしい。
- ・定例会ごとに議員さんの報告会をもたれてはどうか。
- ・質問時間に制限をもたせないようにしたらどうか。

## 第2代後期議会だより編集委員名簿

(順不同)

委員長	山岸 國廣
副委員長	竹内 知雄
委員	清水 照子
町田 博文	
西澤 忠和	
林 紘一	
佐藤 恒夫	
沢田 一男	
金子 芳郎	
野口 美鈴	

## あとがき

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様にはご健勝にて新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年末には百年に一度といわれる世界恐慌による深刻な雇用不安に見舞われております。年の瀬に向けて暗くなる一方の経済情勢を「暗増景気」(クラサマスキー)の創作四字熟語が優秀作品に選ばれるような年末でした。

議会は本年も更なる議会改革を進め一層の活性化を目指して取り組んでまいります。

また、議会構成により、正副委員長は上記のとおりとなりましたが、今後とも市民の皆様におわかり易く、見易く、読み易い議会だよりの編集に心がけてまいります。

